



2021年4月 2020-2021 第6号

ワイズメンズクラブ国際協会 アジア太平洋地域ブリテン

主題:変化をもたらそう スローガン:奮い立たせよう

目次

地域会長からのメッセージ: 2

南東アジア区特集: 3-12

グリーン活動: 13



地域会長からのメッセージ

アジア太平洋地域会長 デビッド・ルア



会員の皆さま、友人の皆さま

イースターを迎えるにあたり、心よりご挨拶と祝福を申し上げます。

イースターは、イエス・キリストが人間の罪のために十字架にかけられてから3日後に復活したことを祝う、キリスト教の暦の中で非常に重要なイベントです。私たちは、人類に対する神の愛について考えるよう求められています。主の恵みによって、この愛を私たちの奉仕活動に反映させ、地域社会に変化をもたらすことができましょう。

新型コロナウイルスが世界的なパンデミックと宣言されてから、13ヶ月が経とうとしています。多くの人命が失われました。悲しみに沈むご家族の上に神の平安があるように祈ります。また、世界的な経済活動の混乱や、クラブの対人活動の縮小なども見られます。しかし、会員の皆さまが確固たる姿勢を保ち、弱い立場にある人々に手を差し伸べ、助けの手を差し伸べ続けてくださっていることに感謝しています。私は、会員の皆さまが変化をもたらしていることを称賛します。

パンデミックにもかかわらず、2021年3月27日に南東アジア区の香港で25名の新クラブがチャーターされたことを嬉しく思います。ニューテリトリ・イースト・ワイズメンズクラブの設立を成功させたジョーン・ウォン理事、チャータークラブ会長のピンキー・スンさんと彼女のクラブメンバーにお祝いを申し上げます。このクラブは、地域社会への奉仕とYMCAへの支援を通じて、皆さんの友情の絆を深める機会を提供します。

今年は、2021年8月14日に台湾の台南で第29回アジア太平洋地域大会が開催される予定です。地域大会は、地域のメンバーがお互いに出会い、友情を新たに、ワイズメン、ワイズウィメンとしてのサービスを再活性化させる機会となります。しかし、いくつかの国で変異ウイルスが発生したことにより、通常の方法ではメンバー国から参加者を集めて大会を開催することができなくなりました。そこで地域議会は、台湾に来ることができないメンバーの参加を増やすために、ハイブリッド方式で大会を開催することを決定しました。

ワイズメンズクラブ国際協会が支援している国連のグローバルプロジェクトである「ロールバックマラリア」が4月の強調事項となっています。このプロジェクトのための資金調達のためにゴルフトーナメントを開催してくれた台湾区に感謝します。この場をお借りして、フランク・ツァイ理事とトニー・リャオ・ロールバックマラリア国際事業主任/地域事業主任の素晴らしい努力に感謝します。会員の皆さまにおかれましては、この基金へのご協力をお願いいたします。

Week4Wasteが2021年4月18日の週に開始されます。これは、公共の場所のゴミを回収することで、世界中の会員が環境に配慮する役割を果たすための国際的なプロジェクトです。皆さまには、責任ある地球市民として、このプロジェクトを有意義なものにさせていただけると確信しています。ぜひ、ご友人や地域の方々にもご参加いただきたいと思います。

今年度の国際プログラムの献金は、2021年5月末までに国際本部に送金してください。会員の皆さまには、これらの価値あるプログラムや、創立者を記念して設立されたポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金への寛大なご寄付をお願いいたします。

今月では、9カ国のクラブで構成される南東アジア区を特集しています。この区の豊かな歴史と活動を紹介してくれたジョーン・ウォン会長とそのチームに感謝します。

この地域ブリテンを発行する地域ブリテンチームのたゆまぬ努力は称賛、心からの感謝に値します。

どうかお読みいただき、ご安全にお過ごしください。



南東アジア区 - 活発に、結束そして成長

南東アジア区理事 ジョーン・ウォン



南東アジア区の歴史と背景を共有するために、私たちの地域を紹介する機会を与えていただいたアジア太平洋地域に感謝します。

南東アジア区は、1961年のシカゴ国際大会で設立が承認されました。

この地域は、香港、マカオ、シンガポール、タイ、マレーシア、ミャンマー、バングラデシュ、カンボジア、ネパールなど、10カ国以上にまたがる多様性を持っています。現在、当地域の会員数は440名ですが、他の地域と同様、高齢化の問題に直面しています。多くのクラブが会員数の増加が伸び悩んでいる一方で、近年、発展途上国で新しいクラブが結成され、新しい若い世代が運動に参加しています。

私たちの当面の課題は、会員数が減少しないようにすることと、活動していない既存のクラブを復活させることです。その一方で、より多くの国に新クラブを設立して成長を図ることに積極的に取り組んでいます。今年は、マレーシアのジョホールと香港で、2つの新クラブが誕生しました。

新型コロナウイルスは、私たちにとって大きな挑戦でした。私たちは、旅行に行き会えませんでした。その代わりに、バーチャルでお互いに密接な関係を保っています。私たちの目標は、チャレンジ22と100周年に向かっています。そのため、「活発に、結束そして成長」が今年の区のテーマです。私たちのスローガンは「共に働こう」であり、アジア太平洋地域の一員として、私たちは同様に変化をもたらそうとしています。



南東アジア区のクラブ (2021年4月1日現在)

香港部

15クラブ、306名

SMIT部

15クラブ、175名

Country	YMC/YSC (Year)	Current No. of Membership
Hong Kong	Hong Kong Club (1932)	30
	Kowloon Club (1952)	15
	Victoria Club (1962)	14
	Peninsular Club (1968)	22
	Bauhinia Club (1979)	16
	Tsim Sha Tsui (1981)	14
	New Territories Club (1985)	30
	Island South Club (1988)	20
	North West Club (1997)	39
	Island East Club (2001)	25
	New Territories West Club (2010)	13
	New Tsuen Wan Club (2015)	11
	New Territories East Club (2021)	25
	Macau Club (2005)	16
Nepal	Lumbini (2019)	16

Country	YMC/YSC (Year)	Current No. of Membership
Singapore	Alpha Chapter Club (1980)	23
	Beta Chapter Club (1958)	18
Malaysia	Ipoh Club (1966)	15
	Kuala Lumpur Berbakti Club (1983)	10
	Silver State Club (2000)	22
	Johor Eagle Club (2020)	15
	Bangkok Club (1996)	15
Thailand	Chiangmai Club (1998)	18
	Chiangrai Club (2014)	8
	Lanna Chiangmai Club (2016)	5
	Yangon Club (1959)	5
Myanmar	Phnom Penh Club (2018)	5
Cambodia	Dhaka Central Club (2011)	No membership reported since 2016
Bangladesh	Dhaka North Club (2015)	
	Kathmandu Valley Club (2019)	16
Nepal		

南東アジア区合計481名



香港部

「挑戦することで、可能性を生み出す」

香港部部長 ジョーン・ウォン



香港部評議会

香港部では、2020年・2021年の新しい期が始まって以来、新型コロナウイルスのパンデミックが少なくとも1年以上続き、多くの部やクラブの活動が大きく妨げられたり、停止したりすることが予想されていました。そこで、「挑戦することで、可能性を生み出す」というスローガンが生まれました。困難に直面していても、団結していれば可能性を生み出すことができるのです。まず、部評議会では、月2回のバーチャルミーティングを全面的に採用しました。次に、パンデミックの波が改善されるたびに、私たちは、いくつかの大きな活動を行う機会を得ることができました。2020年9月には、目のケアについての生講演をオンラインセミナーに変更し、ワイズメンのジェイソン・ヤム博士を招いて、「さまざまな年齢層に共通する成人の目の病気」について講演していただきました。また、2020年10月には、クラブリーダーと会員を対象としたスピーチトレーニングを開催し、多くのライオンズクラブ会員も参加しました。2020年11月には、香港・中国スポーツ連盟およびオリンピック委員会の副会長であるヴィヴィアン・ラウ氏が、部の年次合同会議で、「スポーツを舞台にした青少年育成」というテーマで講演しました。12月から2月にかけて、香港では最も危機的なパンデミックが発生しましたが、幸いにも3月には恒例のスプリングディナーを開催することができ、同じ日には新クラブのチャーターセレモニーも行われました。香港部ではこれからも様々な活動が計画されています。このままの勢いでいきましょう



香港中文大学 眼科・視覚科学部 准教授
ジェイソン・ヤム氏



昨年春の部の「スプリングディナー」は、パンデミックで中止となりましたが、今年は、幸運にも実施することができました。



香港ライオンズクラブの元地区ガバナーであるケニー・チャン氏が、香港ワイズメンのためにスピーチトレーニングを行いました。



香港のクラブは、コロナ禍との闘いにおいてYMCAと密接に協力

パンデミックのために多くのクラブの会合が中止となりましたが、3分の2のクラブは、YMCAと協働して、福袋、食料品、生活必需品、衛生用品、フェイスマスクなどを配布し、新型コロナウイルス救済プログラムを提供しました。私たちは、クラブによる社会奉仕活動の継続を高く評価しています。これからも可能性を創造していきましょう。

アイランドイーストクラブは、2020年11月に60人の独居老人を訪問し、温かいスープとマスクを配布しました。



ニューテリトリークラブは、仲秋祭の際、中華YMCA高齢者センターに月餅と果物を寄付しました。



アイランドサウスクラブは、中国YMCA カイ・シンセンターと協力して、旧正月の前夜に家で一人暮らしをしている130人のお年寄りに小さな「プーン・チャイ」（中国の伝統的な祭礼料理）を温かく寄贈しました。



チムサーチョイクラブは、香港YMCAと協力して、1年間に数回、生活必需品の寄付を行ってきました。



ペニンシュラクラブは、YMCAへの支援物資の送付を継続して行っており、これにより何百もの低所得世帯の救済に役立っています。



香港クラブは、必要とされる様々な人々に配布されるためのマスク15,500枚を中華YMCAに寄贈しました。



ルンビニクラブは、2020年6月にYMI COVID 19緊急対応基金から1,000スイスフランを得て、ネパールのCOVID 19プログラムの認知度向上のための救援活動や教育活動を行いました。200人以上の低所得の移民家族が恩恵を受けました。





新型コロナウイルスによる活動休止を振り返って

SMIT部部長 ピーター・テイ



2020年4月7日、シンガポール政府は、新型コロナウイルスのパンデミックに対する予防措置として、自宅待機命令と防疫線を実施しました。1年以上経った今、世界のほとんどの国が、ロックダウン、移動制限、外出禁止などの対応をしています。これらの対策は、経済活動の縮小、社会的交流の減少、旅行の最小化など多くの不都合をもたらした一方で、インターネット通信、電子商取引、個別の食事の配達、在宅勤務などの新しい生活様式を生み出し、人類に与えられた創造性を確認させました。困難や不便があっても、神の子である私たちは「既成概念にとらわれない」ことができ、人生は続いていくのです。

この休止期間は、私たちが主との歩みを真剣に振り返る時間にもなります。新型コロナウイルスの出現、スエズ運河の閉鎖、台湾での列車事故という3つの重要な出来事は、一つの小さなアイテムや出来事が大勢の人々に悲惨な結果をもたらすことを明確に示しています。YMIにおいても同様に、1人のメンバーや1つのクラブの努力が、そのメンバーやエコシステムに大きな影響を与えることがあります、それはポジティブな形で行われます。皆さんには、どんな一つのアイディアも悪かったり貧しかったりするアイディアではないことをお伝えしたいと思います。適切な姿勢と実行によって、期待以上の変化をもたらすことができます。その一例が Week4Waste プロジェクトです。環境をきれいにするための私たちの一人一人の努力は、新型コロナウイルスのように伝染し、スエズ運河の閉塞のように緊急で、台湾の列車事故のようにすさまじいものとなるので、無駄にはなりません。

ワイズメンズクラブで奉仕するための不変性を与えてくださったことを、また、自然およびこの壊れやすい地球の保護のために、創造性、革新性、寛大さを与えてくださった主に感謝しましょう。



2020-2021年度の区のエクステンション活動

新型コロナウイルスの危機の中で、南東アジア区でのエクステンションは、予想外の喜びをもたらしました。2020年8月、マレーシアのジョホールに新しいクラブがチャーターされました。デズモンド・リー会長がシンガポールで就任し、ジョホールのクラブ顧問の自宅でクラブメンバーが就任するという、バーチャルとリアルが入り混じった式典となりました。このクラブは SMIT 部に属しています。驚くべきことに、香港部では別の新クラブが、2021年3月末までにすでにチャーターされています。幸いなことに、彼らはホテルでチャーターセレモニーを開催することができ、Zoom を介して国際的な指導者たちが見守る中、就任式が行われました。両クラブのメンバーは、この地域に新たな刺激を与え、南東アジア区に合計 40 名の新しい会員をもたらしました。

マレーシアの新クラブ – ジョホールイーグル・Yサービスクラブ

ジョホールイーグルス Y サービスクラブは、クラブ顧問のスタンレー・チェン教授が、近い将来、ジョホールに YMCA を設立するという志を持って構想したクラブです。クラブのビジョンは、多世代によるチームを作り、地域社会のニーズに応え、ジョホールの市場に影響を与え、信仰と希望と愛をもって世界に貢献することです。クラブの使命は、共に飛翔し、優れた成果を上げるために、効率的、効果的な革新の価値をもって人々に奉仕することです。現在のメンバーはほとんどが 40 代以下で、コミュニティに奉仕する心を持っています。若い音楽家、起業家、IT 専門家などがメンバーです。チャーター会長・デズモンド・リー



香港の新クラブ – ニューテリトリーイースト・ワイズメンズクラブ



ニューテリトリーイースト・ワイズメンズクラブは、2021年3月27日に無事チャーターされました。

新クラブのメンバーは総勢 25 名で、種々の分野で活躍する優秀な人材で構成されていて、様々な面で違いはありますが、同じ価値観やビジョンを共有しています。式典を執り行った以下の国際的なリーダーたちに、心から感謝いたします。

デビッド・ルア アジア太平洋地域会長

ジョース・ヴァルギース 国際書記長

田中博之 直前アジア太平洋地域会長

大野 勉 次期アジア太平洋地域会長

ジョーン・ウォン 南東アジア区理事/香港部部长

エドワード・オン アジア太平洋地域 EMC 事業主任

PJ ジョン牧師 アジア太平洋地域キリスト教強調事業主任

2つのスポンサークラブのディーパック・バンダリ氏(ランビニYサービスクラブ会長)とハリソン・チェン氏(アイランドイースト・ワイズメンズクラブ)には、終始揺るぎないサポートをしていただき感謝しています。

また、元地域会長、元理事、元部長、クラブ会長の皆さま、ゲストの香港YMCA CEOのピーター・ホー氏、ライオンズクラブ元地区ガバナーのケニー・チャン氏、立会人を務めていただいたアレクサンダー・チャン氏および元理事のジェームズ・コング氏をはじめとするリアルまたはZoomで式典に参加して下さった皆さまにも感謝いたします。チャーター会長・ピンキー・スン

ミャンマーでのワイズダムの広がり

南東アジア区では、デビッド・ルアアジア太平洋地域会長、エドワード・オンアジア太平洋地域 EMC 事業主任、山田公平アジア太平洋地域 YMCA リエゾン事業主任、ジョーン・ウォン区理事、ジェームズ・コング区エクステンション事業主任、ピーター・ティ部長、ラチャン・マネカーン区 YMCA リエゾン事業主任/次期部長、ディーパック・バンダリ区書記からなるエクステンションチームが設立され、ミャンマーでのエクステンション活動に尽力しました。ミャンマーYMCA 同盟、ロイカウ YMCA、ミトゥキナ YMCA、

マンダレーYMCA の協力の元、当初は 4 つのワイズメンズクラブが 2021 年 3 月末までのチャーターを予定していましたが、残念ながらミャンマーでの軍事クーデターにより、ワイズダムは、中断せざるを得ませんでした。

ミャンマーの不透明な政治状況と不安な雰囲気を考慮して、区とエクステンションチームは、計画を中断しましたが、私たちの思いやりを示し、常に彼らのために懸命に祈り続けています。ワイズダムの種は、まだミャンマーにあります。香港、タイ、シンガポールのクラブはスポンサーとサポートをする準備ができています。どうぞミャンマーのワイズメンの上に神様の祝福がありますように。



2020-2021年度のネパールでのユースクラブ

この区ではすべてのユースクラブが何年も前に消滅していましたが、今年は驚くべきことに、合計 63 人のメンバーを擁する 3 つのユースクラブがネパールで同時に誕生します。3 つのユースクラブとは、サマンサスクール、ルンビニ、カワソティで、ルンビニ・ワイズメンズクラブがスポンサーとなり、既にオリエンテーションが行われていて、2021 年 5 月にチャーターセレモニーが行われる予定です。





偉大なパートナーシップのモデル

シンガポールアルファチャプタークラブの地元、海外でのYMCAへの強力な支援

シンガポールアルファチャプター・ワイズメンズクラブは、YMCAをサポートするというミッションのもと、1980年のチャーター以来、YMCAビルの建て替えや、年に一度のYMCA 英語コンテスト、年に一度の地域のお年寄りのためのYMCA シルバーフェスタプログラムを支援してきました。

2020年に新型コロナウイルスのパンデミックが発生したことにより、このような対面式のプログラムは保留されることになりました。移民労働者や低所得者層は、シンガポール政府が導入したウイルスの蔓延を抑えるためのロックダウンにより、最も悪影響を受けました。クラブはこれに応え、メンバーからの献金を募り、シンガポールYMCAの「Wok The Talk Project」に寄付しました。このプロジェクトでは、ボランティアを動員し、屋台フードコートから購入した料理を移民労働者や高齢者、低所得者層に届けました。



インド料理の屋台

移民労働者への食料配布

YMCAシルバーフェスタプログラム

2016年、アルファチャプタークラブは、何名かのリーダーがカンボジアYMCAを訪問した後、YMCAのストリートチルドレンプログラムに参加している子どもたちに適切な栄養を与える必要があると感じました。このプログラムの目的は、主に鉄道線路脇に住む貧しい家庭の子どもたちの教育に取り組み、初等教育を提供し、能力に応じて高等教育へと発展させることで、子どもたちを変え、力づけることにあります。クラブは、栄養不足の子どもたちに調理済みの食品を提供するスポンサーになることを決定しました。これは、国境を越えたYMCAの継続的な支援です。

アルファチャプター・ワイズメンズクラブ会長 ダニエル・ウン



カンボジアYMCA勉学センターのストリートチルドレン

同 昼食風景

シンガポールベータチャプター・ワイズメンズクラブは、シンガポールの移民に元気を与えています

2020年11月に行われるディーパバリのお祝いの一環として、シンガポールベータチャプター・ワイズメンズクラブは、クラブ会長のクラレンス・リンが寄付した500箱のビリヤニとクラブが寄付したムルクスナックを、2日間にわたって2つの移民労働者リクレーションセンターに配布しました。

シンガポールベータチャプタークラブは、別のNGOのクライシス・リリーフ・アライアンス(CRA)と共同で、シンガポールの約80の小さな寮に配布するためのケアパックを10,000個用意しました。集まった20人のボランティアは、マスクやフェイスシールドを着用し、食料や必需品を配る手伝いをしました。

ふたつのリクレーションセンターでのイベントはいずれも1週間以内に計画され、直前会長のサムエル・イーク(57歳)がボランティアチームの指揮を執りました。クラブ会長のクラレンス・リンが校長を務める料理学校「オールスパイス・インスティテュート」やフーチョウ・メソジスト教会など、あらゆる方面から寄付が寄せられました。バングラダンスのセッションでは、ボランティアもセンターの労働者たちも大笑いしながらお祝いしました。

イークは、「ようやくすべてがまとまって、ほっとしています。この時期に彼らを祝福できるのはとても意味のあることです。」と笑いながら語りました。

「シンガポールにどれだけ多くの移民労働者がいるのかについては、本当に驚かされます。彼らは人目に付かない場所に住んでいることが多いので、普段は目にすることがありません」と語りました。

陽気な雰囲気にも包まれていました。ビリヤニやムルクなどのスナックをビールで流し込みながら、笑い声が絶えませんでした。

2020年のディーパバリに続いて、シンガポールベータチャプタークラブは、CRAと協力して、何千人もの移民労働者に、おいしい本格的なビリヤニ、クォーターオートビスケットの詰め合わせ、パンデミック対策のための必需品を提供し続けました。これらには、2020年のクリスマス、2021年の旧正月、2021年のイースターも含まれています。

シンガポールベータチャプタークラブ ヴェニス



クリスマスに、移民労働者にゲームを提供



バングラダンス

ノースウエストワイズメンズクラブは、長年に亘って子供たちの眼のケアに貢献しています

ノースウエストワイズメンズクラブは、長年にわたり、CUHK ジョッキークラブ児童眼科検診プログラムに貢献してきました。貢献してきました。このプログラムは、香港ジョッキークラブ・チャリティーズトラストがスポンサーとなっています。このプログラムの目的は、6歳から8歳までの、特に低所得者層の子どもたちの目の問題や目の病気を発見し、特定することで、無料の眼科検診サービスを提供することです。2015年以降、15万5,000人以上の子供たちがこのプログラムに参加し、香港の4,000世帯以上が中文大学眼科センターでの総合的な眼科検査の恩恵を受けています。ノースウエストクラブは、長年にわたり、同センターとの主要なパートナーシップを務め、参加する学校との調整を担当し、また、毎週末には眼科でのボランティア活動を行っています。

ノースウエストワイズメンズクラブ会長 レオ・チュー



キックオフセレモニー



このプログラムは、ワイズメンのジェyson・ヤム医師がリードし、監督しています。



CUHK 眼科センター

ルンビニYサービスクラブ「全員のための教育」

ルンビニクラブでは、NGO「Serve People」と協力して、定期的に、ネパールの恵まれない子供たちや災害に遭った子供たちにランドセルや教材を寄付しています。この2年間で、400人以上の子どもたちがこのプログラムの恩恵を受けました。子どもたちの教育継続を支援するため、クラブは、孤児や親を亡くした子どもたちに補助金を出すための寄付者探しを支援しています。新型コロナウイルスの危機的な期間中、ルンビニクラブのメンバーは、貧しい子供たちの家庭を訪問し、子供たちへの愛と祝福を表現するために、暖かい服や食料、必需品を寄付し、教育の継続を支援しました。

ルンビニYサービスクラブ



区での新しい取り組み：月例の祈りの会

テクノロジーは私たちを簡単に結びつけることができます。2020年の12月から、南東アジア区では月に一度の祈りの会が始まりました。これは、キリスト教強調区事業主任のP J ジョン牧師が主導するキリスト教強調プログラムの一つです。会合は、様々な国からワイズメンの仲間を集め、彼らの人生を共有し、共に祈ることができる交わりのプラットフォームを作ることです。

毎回、様々な人を招いて祈りを分かち合っていますが、そのうちの一人には西村隆夫元国際書記長もいました。デビッド・ルア地域会長とエドワード・オン元地域会長は、いつも私たちをサポートしてくれました。私たちは、新型コロナウイルスに感染して苦しんでいるワイズメンのために祈っていましたが、ここ数ヶ月は、ミャンマーからワイズメンとYMCA同盟のスタッフを招いて、ミャンマーのために祈りを続けています。



Week4Wasteの区の取り組み



YMIクリーンアッププロジェクトへの対応として、区は、タスクフォース委員会を結成し、区CS事業主任/元区理事 パトリシア・リムが委員長を務めました。この委員会には各国から代表者が参加しています。タスクフォースの任務は、区やクラブにWeek4Wasteを宣伝することと、清掃活動の写真を集めることです。効果を挙げるため、区は、ロゴをデザインし、ワイズメンが購入する再利用可能なフェイスマスクを製作しました。

クリーンアッププロジェクトは、チェンマイクラブからスタート

ワイズメンズクラブ国際協会は「Week4Wasteプロジェクト」と「グレートグローバル・クリーンアッププログラム」を2021年4月18日から25日の間に開始します。この期間は、ちょうどWHOのアースデイと同時期です。しかし、チェンマイ州知事は、日々急増する感染者数を減らすため、2021年4月9日から30日までの間、厳しい感染症対策を行うことを発表しました。そのため、チェンマイクラブの旗艦イベントである「Week4Waste」のマルカ運河清掃プロジェクトは、延期せざるを得ませんでした。状況が改善されれば実施されます。

それにもかかわらず、チェンマイクラブは新型コロナウイルスの状況に臆することなく、4月13日の最も有名なサンカンロンの日（タイの伝統的な新年であるソンクラーン祭りの初日）の数日前に、社会的な距離を保ちながら家庭の掃除を行い、「ランナー文化」とともにWeek4Wasteを実施するというコミットメントを維持しています。新年の準備として、人々は家や体をきれいにして、古い霊や罪を追い払い、新年にやってくるすべての良いことを迎え入れるようにするのです。



Week4Waste活動のこれからの予定

香港

2021年4月25日、ドラゴンボートに乗って海辺を清掃

2021年5月に荃湾地区の海岸を清掃

マレーシア・イポクラブ

リサイクル回収〜シングルマザーのためのチャリティー

タイ・チェンマイクラブ

マルカ運河の清掃（新型コロナウイルスの感染者が減るまで

ネパール・ルンビニクラブ

ユースと一緒に川や学校を清掃

グリーン活動と環境

アジア太平洋地域 ブリテン編集長、グリーン活動・環境事業主任 コリン・ランビー

IPCCの特別報告書「持続可能な開発の観点で1.5℃と両立する緩和への道」では、パリ協定の下での現在の約束（国家決定貢献(NDC)として知られている）に沿った排出量の下では、これらの約束が2030年以降の大規模な緩和および野心に富んだ極めて挑戦的な取り組みによって補完されたとしても、地球温暖化は、産業革命以前のレベルよりも1.5℃を超えると予想されています。

このような行動の拡大には、15年以内にCO2排出量を正味ゼロにする必要があります。これを達成したとしても、気温が1.5℃のしきい値を下回るのは、実際の地球物理学的反応が、現在推定されている不確実性の範囲の下限に近いものになった場合のみとなるでしょう。

したがって、2050年までにカーボンニュートラルになることを公約している国（それよりも早い国、遅い国、また公約していない国もあります）は、予測されている人道的災害を回避するには十分ではありません。

私たちは、政府に頼るのではなく、個人、組織、コミュニティとして行動しなければなりません。

2030年（またはその他の時期）までにカーボンニュートラルになるためには、まずベンチマーク、つまり現在のカーボンフットプリントを把握することから始まります。これは、電気、ガス、水などの消費量や、排出されるゴミの量や種類を調べることで算出されます。旅行、特に飛行機やクルーズ船もカーボンフットプリントの原因となります。

電気の使用による温室効果ガスや二酸化炭素の排出量は、国によって、また国内でも異なります。例えば、私がいるオーストラリアのビクトリア州では、褐炭を燃やして電気を作っています。電気使用量あたりの排出量は、1kWhあたり約1kgで、これはおそらくアジア太平洋地域では最も高く、世界でも最も高い排出量です。ちなみに、私は100%グリーン（ゼロカーボン）のエネルギーを購入しています。

個人や組織のカーボンフットプリントを決定するには、カーボンフットプリント計算機を使用します（多くの計算機がありますが、アジア太平洋YMCA同盟では、私がアジア太平洋地域用に開発したものを使用しています）。

カーボンフットプリントの原因を突き止めたら、次のステップは、化石燃料の使用を減らすなどして、可能な限り排出量を減らす計画を立てることです。

次号では、カーボンニュートラルを実現するための計画の例をご紹介します。

編集長からのメッセージ

今月は南東アジア(SEA)区の特集です。来月はスリランカ、再来月は台湾です。

また、以下のプログラムに関する記事も募集しています。

5月号- W4W(Week 4 Waste)、イメージビルディングとブランディング、YIA(ユース参画・活動)

6月号-YMCAリエゾン(YL)、パフォーマンス分析と評価、次年度の計画

広報担当地域事業主任のアンディ・フーは、エリアのFacebookページに定期的に記事や情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

アジア太平洋地域 ブリテン編集長 コリン・ランビー

2022 年のハワイ国際大会でのボランティアを募集しています。
ご興味のある方は、デビッド・ルア地域会長/利根川恵子地域書記まで

アジア太平洋地域ウェブサイト: <http://www.ysmenap.org/>
Facebook: <https://www.facebook.com/aspysmen>

ブリテン編集チーム

編集長: コリン・ランビー

デザイナー:

ディーパック・バンダリ

マリア・マグダ・ガーナ

配布: 利根川恵子

アドバイザー:

デビッド・ルア

ラモナ・インダイ・モラレス

日本語版翻訳/編集: 田中博之